

県内上場企業の2022年3月期決算と2023年3月期予想

【注】連結ベース、※は非連結。単位は百万円、%。かっこ内は前期比増減率、▲はマイナス。■は損失。－は会計基準変更のため比較できず。信和は国際会計基準（I F R S）のため、経常損益は税引前損益。銀行は除く。

	2022年3月期			2023年3月期予想		
	売上高	経常損益	純損益	売上高	経常損益	純損益
【電気機器・化学】						
イビデン	401,138 (24.0)	74,394 (82.7)	41,232 (60.4)	426,000 (6.2)	67,000 (▲9.9)	42,000 (1.9)
未来工業	36,905 (2.3)	3,954 (▲4.0)	2,531 (▲10.4)	39,223 (6.3)	3,548 (▲10.3)	2,435 (▲3.8)
ムトー精工	20,228 (5.2)	753 (▲29.5)	478 (66.1)	21,000 (3.8)	1,000 (32.7)	800 (67.0)
【輸送用機器】						
太平洋工業	164,472 (9.4)	14,615 (30.3)	9,803 (22.8)	178,000 (8.2)	14,000 (▲4.2)	10,000 (2.0)
丸順	45,663 (1.9)	2,679 (▲36.9)	1,996 (▲20.5)	53,000 (16.1)	3,000 (12.0)	1,900 (▲4.8)
レシップHD	14,075 (▲9.5)	325 (9.2倍)	53 (黒字化)	18,500 (31.4)	430 (32.3)	80 (50.2)
【繊維・紙・木製品】						
※セブン工業	16,016 (－)	478 (－)	361 (－)	16,470 (2.8)	360 (▲24.8)	250 (▲30.9)
ハビックス	10,897 (2.4)	9 (▲98.9)	■2,448 (赤字化)	12,000 (10.1)	150 (16.6倍)	100 (黒字化)
【金属・機械】						
K V K	27,960 (9.9)	2,440 (▲21.7)	1,689 (▲23.1)	30,000 (7.3)	2,740 (12.3)	1,960 (16.0)
信和	16,063 (15.7)	2,063 (15.7)	1,452 (17.9)	17,000 (5.8)	2,120 (2.7)	1,465 (0.8)
和井田製作所	6,485 (54.2)	1,042 (3.2倍)	694 (3.1倍)	7,274 (12.2)	1,049 (0.7)	730 (5.2)
【土石製品】						
T Y K	25,907 (13.1)	3,555 (39.0)	1,732 (34.8)	26,000 (0.4)	3,555 (▲0.0)	1,788 (3.2)
美濃窯業	12,410 (4.8)	945 (▲22.3)	680 (▲20.7)	13,400 (8.0)	1,200 (26.9)	850 (25.0)
【小売り・卸売り】						
バローHD	732,519 (－)	24,140 (－)	9,014 (－)	750,000 (2.4)	25,000 (3.6)	11,500 (27.6)
※セリア	208,084 (3.7)	21,347 (▲0.0)	14,301 (▲2.9)	216,800 (4.2)	17,500 (▲18.0)	11,900 (▲16.8)
ジーエフシー	16,704 (8.3)	■59 (赤字縮小)	■42 (赤字縮小)	20,286 (21.4)	287 (黒字化)	143 (黒字化)
【運輸】						
セイノーHD	607,657 (2.6)	30,269 (9.1)	17,255 (3.6)	620,300 (2.1)	34,430 (13.7)	21,700 (25.8)
エスライン	48,254 (1.0)	1,431 (▲12.1)	966 (▲0.5)	50,000 (3.6)	1,770 (23.6)	1,140 (18.0)
【サービス・情報・通信】						
トーカイ	123,484 (4.6)	8,878 (10.3)	5,806 (5.9)	130,307 (5.5)	8,109 (▲8.7)	5,998 (3.3)
サンメッセ	16,603 (11.2)	606 (56.7)	264 (▲13.2)	16,940 (2.0)	470 (▲22.3)	290 (9.9)
文溪堂	13,197 (－)	1,216 (－)	774 (－)	13,258 (0.4)	882 (▲27.4)	537 (▲30.6)
中広	7,060 (7.8)	120 (黒字化)	101 (黒字化)	7,700 (9.1)	200 (65.7)	149 (47.8)
日本ソフトウェア	5,716 (7.8)	1,688 (31.4)	1,273 (40.7)	6,378 (11.6)	1,433 (▲15.1)	935 (▲26.5)

県内22社が増収

22年3月期上場23社

県内上場企業23社（銀行を除く）の2022年3月期決算が18日出そろった。コロナ禍からの経済活動の再開で業績は回復基調にあり、会計基準変更で前期比増減率を公表していない3社を含め、増収となった企業は前期比16社増の22社となった。23年3月期の業績予想は全社が増収を見込む一方、原材料費の高騰や円安への懸念から、経常利益の減益予想は10社に上った。（富樫一平）

22年3月期決算で、売上高で過去最高を更新したのはバローホールディングス（HD）、トーカイ、K V K、サンメッセ、文溪堂、日本ソフトウェアの6社。バローHDはスーパーマーケットの既存店の改装効果が寄与。K V Kは新設住宅着工戸数の回復で水栓類の販売が伸長した。日本ソフトウェアは前期に続いて、果ごもり需要でゲームソフトの海外販売が伸びた。

損益面では13社が最終増益、または黒字化した。太平洋工業は円

今期業績予想 原料高、円安が懸念材料

安進行による為替差益もあり、各利益が過去最高を更新した。一方、10社は最終減益、赤字となった。エスラインは軽油、K V Kは銅、ハビックスはパルプと原油、原材料価格の高騰が利益を圧迫した。

23年3月期は、原材料価格の高騰が続くとして10社が経常減益を予想する。イビデンは、円安がプラスに働くものの、ロシアのウクライナ侵攻で、ICパッケージのメッキに使うパラジウムやエネルギー価格の高騰が影響。セブン工業も木材価格の高止まり、円安、燃料費の増加で減益を予想する。セイノーHDやエスラインは、燃料費の高騰に対して燃料サーチャージの適用が進むとして増益を予想。世界的な原材料価格の高騰や円安が続く中、価格転嫁がどの程度進められるかも業績の鍵となりそうだ。